

臨時休業中の学習課題（豊岡小：4年生）

今回の学習課題は次の登校日に提出してください。
計画的に課題に取り組みましょう。

次の登校日は、次のとおりです。

5月7日（木）・・・天北・天南A・天南B・萩北・萩中A・萩中B・萩南・膳棚A・膳棚B
5月8日（金）・・・内方A・内方B・石田・洲山・新瑞

国語

- ① 家庭学習プリント①～③に取り組みましょう。
- ② 漢字ドリルの3・4・5・6・9・10・11・12に取り組みましょう。
（ドリルに書き込みましょう。）
- ※ ①②を提出します。

書写

- 書写ノートの表紙裏の見開き、「書くときのしせい」「えん筆の持ち方」を見て、正しいしせいと持ち方を復習しましょう。
- 教科書P12・13を読んで書写ノートP2に取り組みましょう。（自分の一番丁寧な字で書きます）
- 教科書P15～17を読んで書写ノートP3に取り組みましょう。（自分の一番丁寧な字で書きます）
- ※ 書写ノートを提出します。

算数

- ① 家庭学習プリント 「角とその大きさ」①～⑧
「折れ線グラフ」 ⑨～⑫ に取り組みましょう。
- ※ ①を提出します。

理科

- ① 「わたくしのかんさつ・じっけん」(理科ワーク)P1～17を、説明のプリントをよく見ながら、書きましょう。（説明のプリントには書き込みません。）
- ※ 「わたくしのかんさつ・じっけん」を提出します。

「こころとからだのチェックシート」

- 5月7・8日の登校日までに記入しておきます。
- ※ 次回の登校日に提出します。

【5月の集金について】

給食費	0円
漢字ドリル	280円
書写ノート	320円
方眼式計算ドリル	350円
電気のはたらきN型	400円
単三マンガン乾電池	80円
音楽ワーク	390円
道徳ノート	150円
遠足交通費返金	-192円
合計	1778円

※ 給食費については、4月分を5月分に充当します。

※ 遠足中止による返金分を差し引いて集金します。

引き落とし日

- 1回目・・・4月28日（火）
- 2回目・・・5月7日（木）

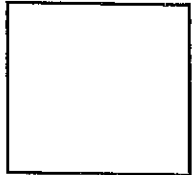
四年生 国語 家庭学習のヒント①

() 細 () 細 名細 ()

春のうた

めあて 「春のうた」をくり返し音読し、言葉のリズムやリズムから、イメージを広げよう

○ 『春のうた』を三回音読しよう。

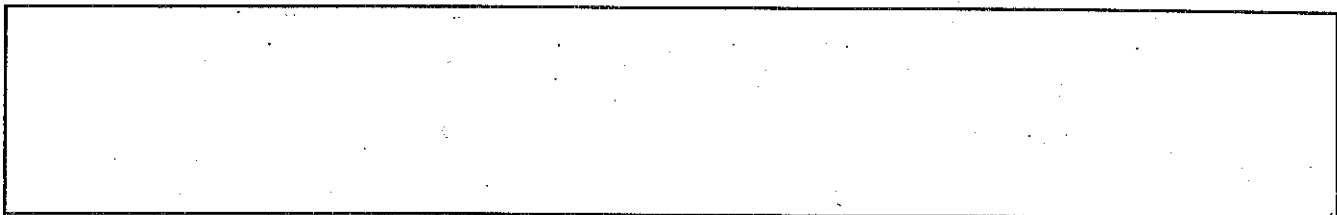


音読した時の口ぶりやしぐさをしよう。

○ 『春のうた』を何回もくり返そう。

連

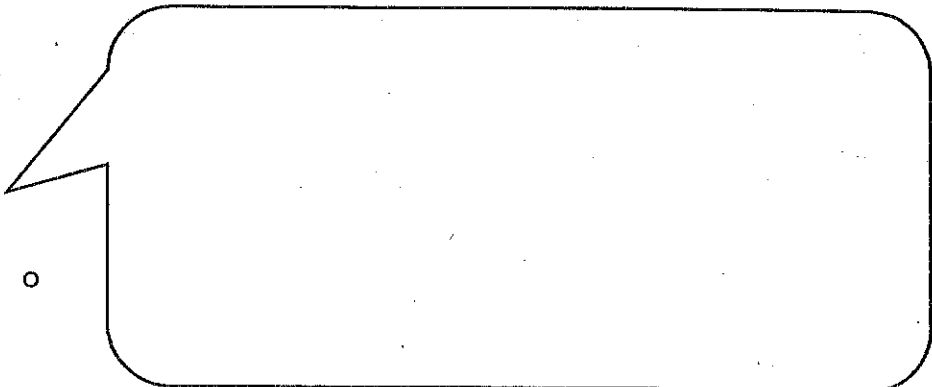
○ 『春のうた』の語句の中、VやNをくり返して使う言葉やリズムを全部書き出そう。



○ 最後の「ケルルハクック」をVとNに分けて音読しよう。

ケルルとハクックをくり返して音読しよう。

ケルルハクック
ケルルハクック。



四年生 国語 家庭学習プリント②

()組()番 名前()

あり

めあて 「あり」をくり返し音読し、言葉のリズムや
ひびきからイメージを広げよう

○ 『あり』を三回音読しよう。

音読した口の形をしよう。

○ 作者はどんな「あり」を「ありじから」と言っているか。

()	あり
()	あり
()	あり
()	あり

振り返り

「春のいた」や「あり」を讀んだ、分かったことや
面白かったことを書こう。

四年生 国語 家庭科類への入試③

()組()類 名種()

白くはいた

めあし 「白くはいた」を読んで、はじめて
感想文を書く時に思ったことを書く

○ 『白くはいた』を1回読んで、感想文、はじめて書く時に思ったことを書く。

<感想>

<はじめて書く時に思ったこと>

--

四年生 国語 家庭学習プリント④

()組 ()番 名前()

白ひばり

めあて

「白ひばり」を読んで、登場人物・時・場所のかくじんをしよう

○『白ひばり』を読んで、()の中に入る言葉を書かしよう。

場面	登場人物	時	場所
一	・お宮の() ・運転手の()ちゃん	()の初め	・ほりばた ・大通り
二	・松井さん ・帽子の中に入った()		・縁がゆれている ()のK
三	・松井さん ・おかつはのかわい() ・元気な()ちゃん そのお母さん		・()の なみ木
四	・松井さん ・白ひ()		・小ねな団地の前の 小ねな()

() 細 () 種 名 ()

白くほくし

めあん

「じちんたごうちん」にひら
ん知らん

○ 教科書の内容を要し、おもしろいところを要約せよ。

じいじ大輔

じちんたごうちん

「昔々昔々から日本を歩く昔々昔々おじいちゃん、めい
んなおじいちゃん。あつた、うしろで、国おもしろいから
うた。」(一〇〇〇一〇〇〇) せんじ ()

や () が、たのしみな表現を

()) せいせい。いぬのせい

いじ ()) せい ())

()) なしを表現、言葉を使わせないで、じいじおじいちゃん。

「じちんたごうちん」は、その場面を () がたか

たかたか、そのおもしろいところを、登場人物 () がたか

に表現をたかたか。

この表現は、「うしろを歩いている。」という、終井おじいちゃん

がたかたか。

四年生 国語 家庭学習シート⑥

() 細 () 細 名詞 ()

白くほろい

あまし 色を表す言葉にほろいがある
「白くほろい」を認めよう

○ 「白くほろい」の母じが、色を表す言葉かたづけや使われようがある。

例をたずね、しものかたづけや書こうしよう。

ページ数	色を表すしもの	色
P14	・しもの	黄色
P14	・夏みかん	オリーブ色
P14	・信音が赤	赤色

○ 色を表す言葉をたずね、かたづけや書こうしよう。

四年生 国語 家庭学習のついで①

() 組 () 番 名前 ()

白くほいし

めあし
 じぶんを教える言葉に注目しながら、
 「白くほいし」を読みあそぶ

○ 「白くほいし」の中で、じぶん・おぼろを教える言葉がたいていおぼろ
 なのよ。例をみて、じぶんを教える、おぼろの言葉を探して
 書きあそぶよ。

ページ	じぶん・おぼろを教える言葉	言葉を探して
P. 4	「おぼろを教える言葉」	おぼろを教える言葉を探して
P. 8	じぶんを教える言葉を探して	「おぼろを教える言葉」を探して

○ じぶんを教える言葉、おぼろの言葉を探して、書きあそぶよ。

四年生 国語 家庭学習のついで⑧

()組 ()番 名前()

自由ほらし

めあし

松井さんがまのちのせうかゝの人か
考えよう。

○ 松井さんがまのちのせうかゝの人かという題を書きなさい。

例 ・ 明るく せうかゝる人

せうかゝる人

↓
まのちのせうかゝる人かという題を書きなさい。
まのちのせうかゝる人かという題を書きなさい。

例 ・ 「まのちのせうかゝる人か」という題を書きなさい。
まのちのせうかゝる人かという題を書きなさい。

めあて どのような大きさの角ができるかを調べよう。

1 教科書 11 ページを見て、「まるく開くおうぎ」をつくりましょう。

2 教科書 12 ページ、13 ページを開きましょう。

(1) ①～⑨の順で、おうぎを開いて、いろいろな大きさの角をつくってみましょう。
ただし、②の角をつくったら、①のようにおうぎを閉じてから③の角をつくりましょ
う。④～⑨の角をつくる時も同じようにしましょう。

(2) おうぎを開いて、直角をつくりましょう。直角は、①～⑨の何番になりますか。
右の□に番号をかきましょう。



(3) あてはまる^{ことば}言葉を () にかきましょう。

ア おうぎが⑤の^{じょうたい}状態のことを () とよびます。

イ おうぎが⑨の^{じょうたい}状態のことを () とよびます。

3 まとめです。

(1) 次の () にあてはまる言葉や数をかきましょう。

- ア 1つの頂点から出ている2つの辺がつくる形を () といいます。
イ 直線がどれだけ () かで、角の大きさがきまります。
ウ 半分開くと直角の () ぶん、全部開くと直角の () ぶん角ができます。

(2) いろいろな角の大きさをつくってみて、わかったことやこれから知りたいことをか
きましょう。

めあて 分度器を使って、角の大きさをはかろう。

1 教科書 14 ページの①を声に出して読みましょう。

(1) 教科書 169 ページのうすい紙を重ねて、㊸と㊹の角の大きさをくらべてみましょう。どちらがどれだけ大きいですか。考えたことを口にかきましょう。

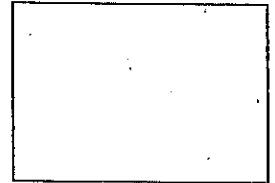
(2) 次の()にあてはまる言葉をかきましょう。

ア 長さやかさのように、角の大きさも()で表せるといいです。
イ 角の大きさをはかるには、()を使います。

2 次の()の中にあてはまる言葉をかきましょう。

度(°)は、角の大きさの^{たんい}単位です。角の大きさのことを()ともいいます。

3 直角(90°)の印を教科書 15 ページを見て、
右の口にかきましょう。



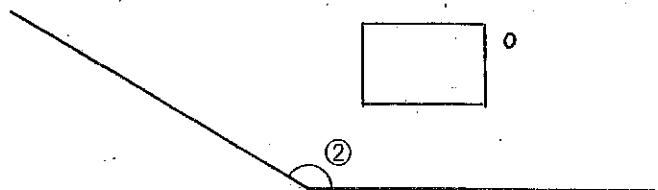
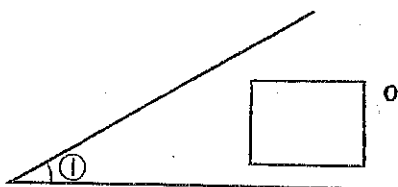
4 教科書のうしろにある分度器を見て、気づいたことをかきました。次の()にあてはまる言葉や数をかきましょう。

ア 10、20、30、…と()ずつ大きくなっています。
イ 0と180、10と170が()線の上にあります。

5 教科書 14 ページと 15 ページの「角の大きさのはかり方」を読んで、①の㊸と㊹の角の大きさをはかりましょう。また、どちらがどれだけ大きいかも答えましょう。

㊸の角の大きさは、()°、㊹の角の大きさは()°です。
()の角は、()の角より()°大きいです。

6 教科書 15 ページの△2の問題に取り組みましょう。□に角度をかきましょう。



めあて くふうして角の大きさをはかろう。

1 教科書 16 ページの③を声に出して読みましょう。

(1) 分度器を使って、㊸と㊹の角の大きさをはかろうとすると、下の□の中にあるようなこまったことがありました。()にあてはまる言葉をかきましょう。

ア ㊸の角では、()の長さが短いです。
 イ ㊹の角では、㊸の角と向きが()です。

(2) ㊸と㊹の角の大きさは、どのようにくふうすると、はかることができますか。()にあてはまる言葉をかきましょう。

ア ㊸の角は、()の長さを()、はかることができます。
 イ ㊹の角は、左の()の線から目盛りを()。

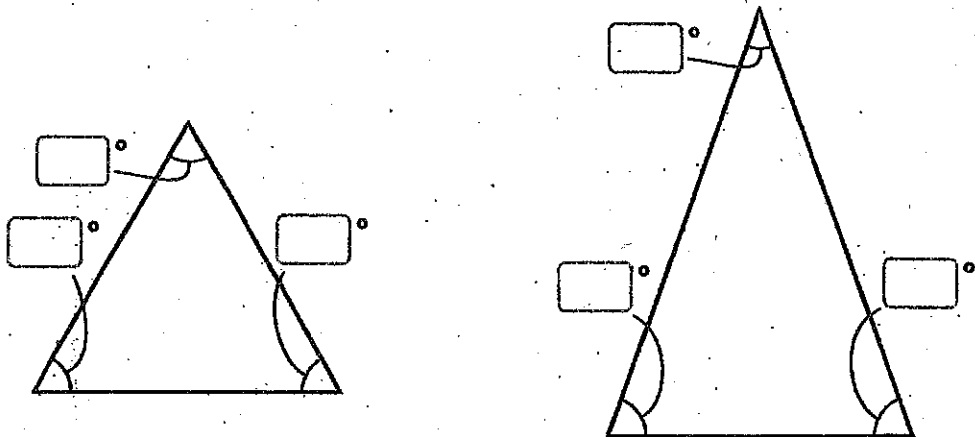
(3) ㊸と㊹の角の大きさを、くふうしてはかり、角度を()にかきましょう。

ア ㊸の角の大きさは()°です。
 イ ㊹の角の大きさは、()°です。

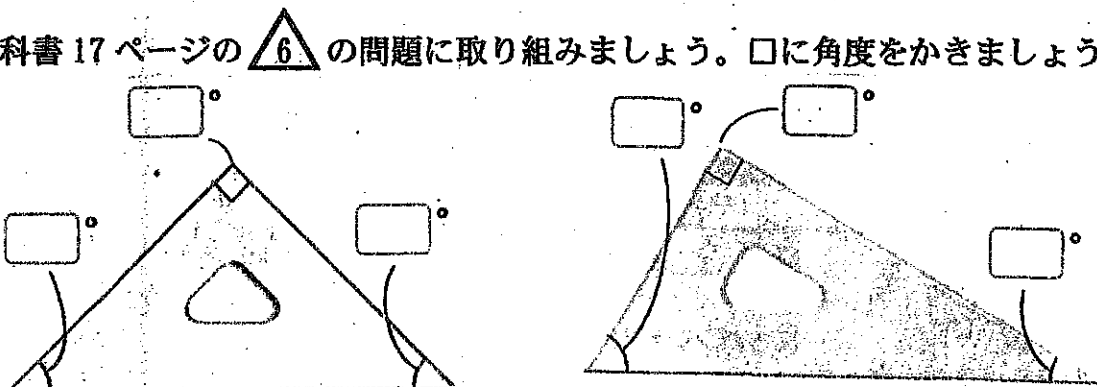
2 教科書 17 ページの④の問題に取り組みましょう。角度を()にかきましょう。

㊸の角の大きさは()°、㊹の角の大きさは()°です。

3 教科書 17 ページの⑤の問題に取り組みましょう。□に角度をかきましょう。



4 教科書 17 ページの⑥の問題に取り組みましょう。□に角度をかきましょう。



めあて 角の大きさを計算で求めよう。

1 教科書 18 ページの1を声に出して読みましょう。

(1) 分度器を使わないで、㊸と㊹の角の大きさを求めましょう。三角じょうぎの角の大きさを使って、考えましょう。

ア	㊸ の角の大きさは () ° だと考える。
イ	㊹ の角の大きさは () ° だと考える。

(2) ㊸と㊹の角の大きさを、計算で求めましょう。それぞれの角の大きさを求める式を考えて、解きましょう。

ア ㊸ の式	<div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div>	=	<div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div>
イ ㊹ の式	<div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div>	=	<div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div>

(3) ㊸と㊹の角の大きさを、分度器を使って、たしかめましょう。たしかめることができたなら、右の□の中に○をかきましょう。

2 まとめです。次の□の中を声に出して読みましょう。

角の大きさも、長さやかさのときと同じように、たしたりひいたりすることができます。

3 教科書 19 ページの2の問題に取り組みましょう。計算で求めましょう。

㊸の式

答え _____

㊹の式

答え _____

3 教科書 19 ページの3の問題に取り組みましょう。1組の三角じょうぎを使って、次の大きさの角をつくることができたなら、□の中に○をかきましょう。

① 75° ② 105° ③ 120° ④ 150°

めあて 180° をこえる角の大きさのはかり方を考えよう。

1 教科書 20 ページの1を声に出して読みましょう。

(1) ㉞の角の大きさは、だいたいどれくらいになるでしょう。あてはまるものをえらび、() に○をつけましょう。

- ① 0° から 90° () ② 90° から 180° ()
 ③ 180° から 270° () ④ 270° から 360° ()

(2) 180° をこえる角の大きさのはかりかたを、教科書 20 ページのだいちさんと、ひなたさんの考えをもとに、考えましょう。

(3) 次の□にあてはまる数をかきましょう。

半回転してできる角の大きさは $^\circ$ です。

一回転してできる角の大きさは $^\circ$ です。

(4) ㉞の角の大きさを、半回転や一回転の角の大きさから求めます。教科書 21 ページの図をもとに、だいちさんとひなたさんの考えを式に表しましょう。

だいちさんの考え	=
ひなたさんの考え	=

2 教科書 21 ページの 2 の問題に取り組みましょう。

㉞の式

答え _____

㉞の式

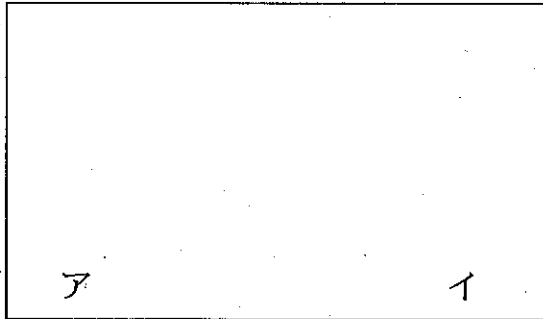
答え _____

3 まとめです。角の大きさの求め方を学び、わかったことやできるようになったこと、もっとやってみたいことをかきましょう。

めあて 分度器を使って角をかこう。

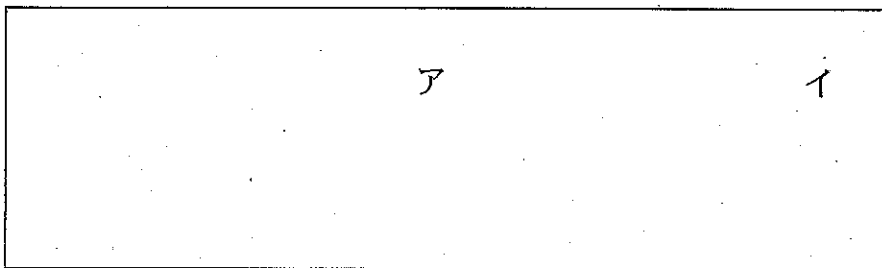
1 教科書 22 ページの「角のかき方」を声に出して読みましょう。


(1) 「角のかき方」を見て、分度器を使って、 30° の大きさの角をかきましょう。

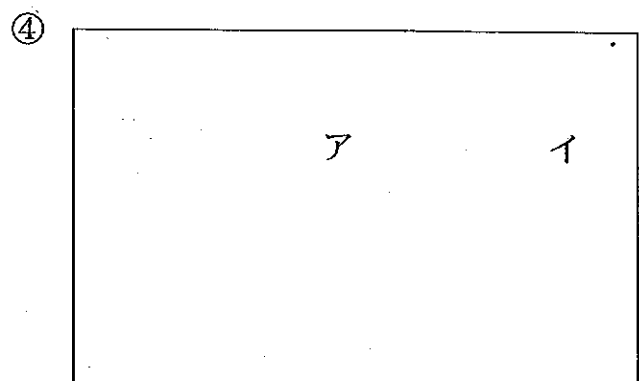
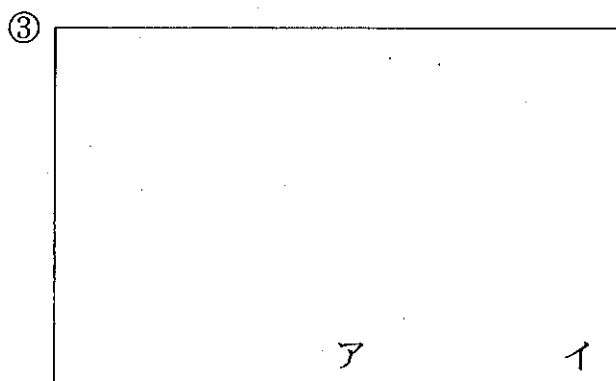
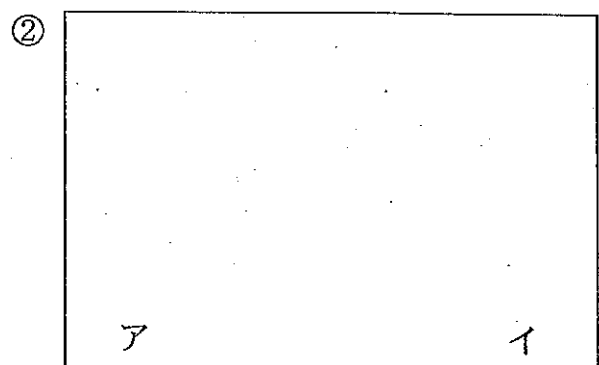
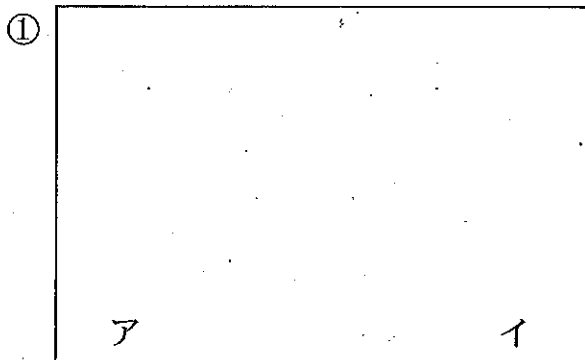


ヒント
 180° をこえる角の大きさをはかるときはどのようにしたかな？

(2) 200° の角を、くふうしてかきましょう。

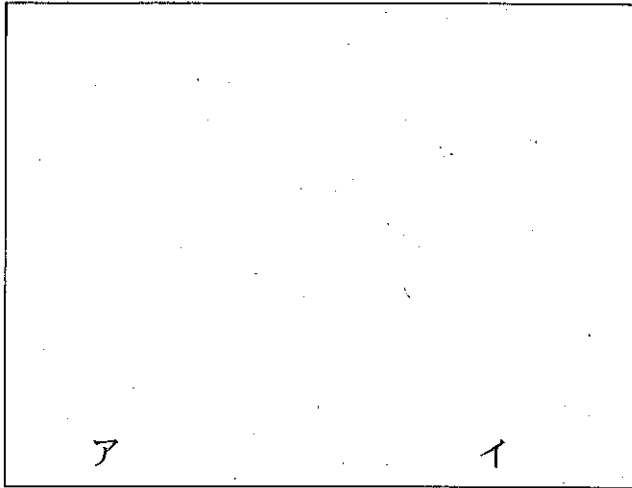


2 教科書 22 ページの  の問題に取り組みましょう。




めあて 角のかき方を使って、三角形をかこう。

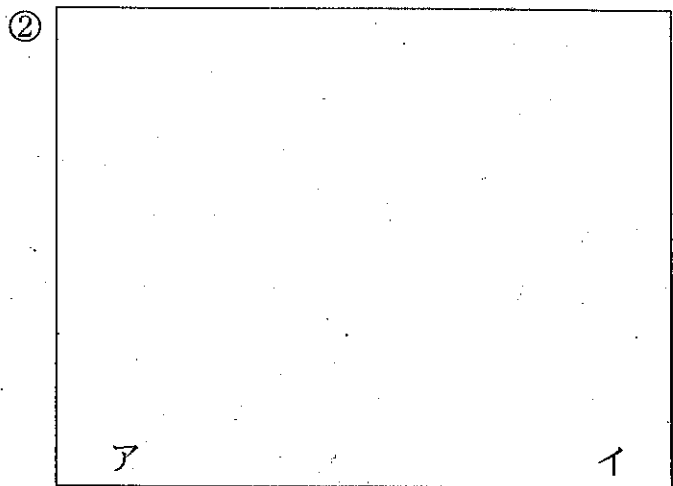
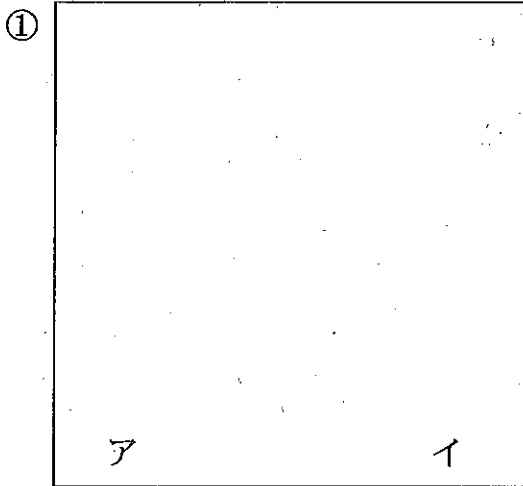
1 教科書 22 ページの「角のかき方」を使って、4の三角形をかきましょう。



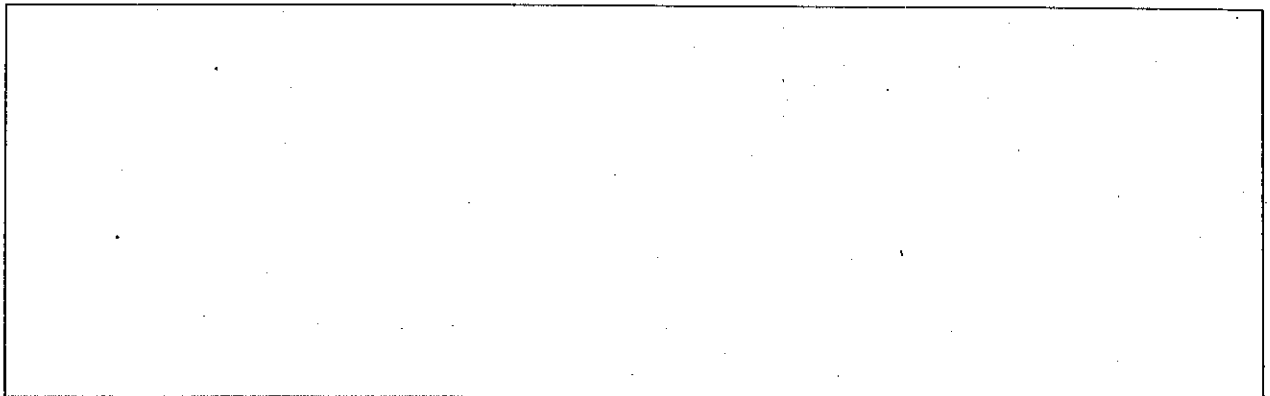
- ① 5 cmの辺アイをかく。
- ② 50° の角をかく。
- ③ 45° の角をかく。

交わった点が頂点ウになるよ！

2 教科書 23 ページの  の問題に取り組みましょう。



3 まとめです。角や三角形のかき方を学んで、わかったことやできるようになったこと、もっとやってみたいことをかきましょう。





学びのまとめ

✓ だれかめしや 「答え」163ページ

□ 1 にあてはまる数をかきましょう。

直角や半回転の角の大きさがわかるかな。

- ① 14, 15ページ
- ② 20, 21ページ

① 直角の大きさは ° です。



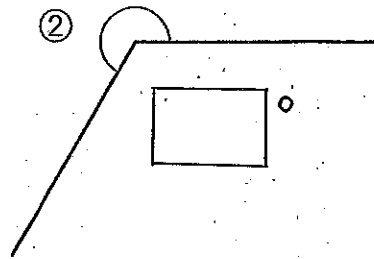
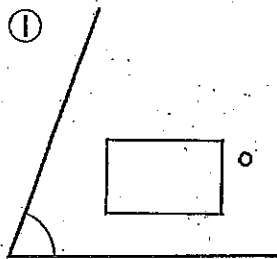
② 半回転の角の大きさは ° です。



□ 2 次の角の大きさを、見当をつけてから分度器ではかりましょう。□に角度をかきましょう。

角の大きさをはかることができるかな。

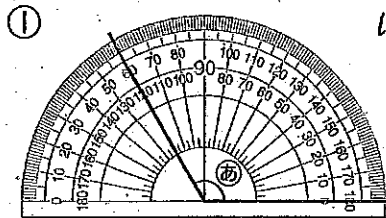
- ① 14, 15ページ
- ② 20, 21ページ



□ 3 ひなたさんやだいちさんの答えが正しいかどうかを説明しましょう。「正しい」または「正しくない」

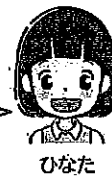
分度器の使い方や三角じょうぎの角の大きさがわかるかな。

- ① 14, 15ページ
- ② 18, 19ページ

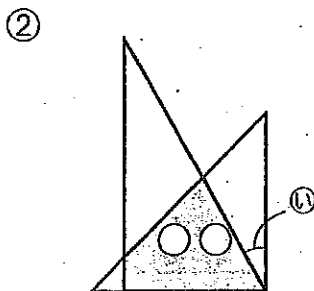


に○をつけて、「正しくない」ときは理由をかきましょう。

②の角の大きさは、分度器の目もりが60だから60°です。



(正しい ・ 正しくない)
理由



①の角の大きさは、 $90^\circ - 60^\circ = 30^\circ$ です。



(正しい ・ 正しくない)
理由

めあて 変わり方がよくわかるグラフについて調べていこう。

1 教科書 26 ページの問題を声に出して読みましょう。

(1) 温度計を見て、それぞれの時こくの気温を下の表にかきましょう。

1日の気温 (4月15日調べ)								
時こく(時)	午前9	10	11	12	午後1	2	3	4
気温(度)	13							

(2) 気温がいちばん高い時こくはどれですか。

右の□にあてはまる言葉をかきましょう。

 時

2 教科書 27 ページの1の問題を声に出して読みましょう。

(1) 1のグラフは、教科書 26 ページの気温がかわっていくようすを表したグラフです。下の () にあてはまる言葉をかきましょう。

- たてのじくは ()、横のじくは () を表しています。
- 点と点を () でつないだグラフになっています。
- このようなグラフのことを () グラフといいます。

(2) 次の問題に答えましょう。

ア たてのじくの1目もりは何を表していますか。正しい方に○をつけましょう。
 (気温1度 ・ 時こく1時)

イ それぞれの時こくの気温をよみましょう。() にあてはまる数をかきましょう。

午前10時・・・()度 午前11時・・・()度
 午前12時・・・()度 午後 1時・・・()度
 午後 2時・・・()度 午後 3時・・・()度

ウ 気温が21度だった時こくを全部かきましょう。

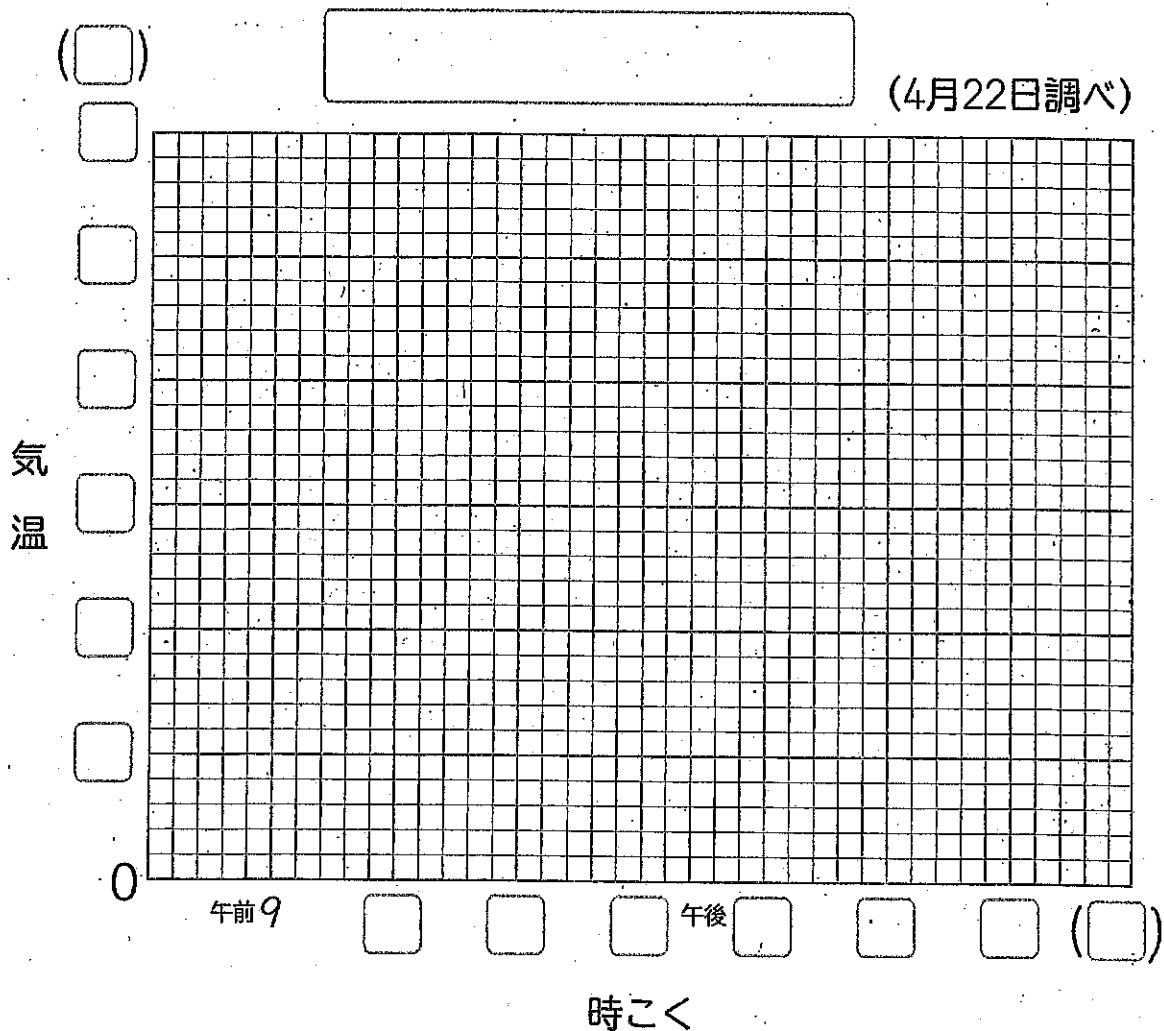
午前または午後も
わすれずにかきま
しょう!

3 まとめです。折れ線グラフについて、わかったことや知りたいことをかきましょう。

めあて 目もりのつけ方に気をつけて、折れ線グラフをかこう。

1 教科書 30 ページの1の問題を声に出して読みましょう。

(1) 教科書 31 ページの「折れ線グラフのかき方」を見ながら、①～⑤の手順で下のグラフにかきましょう。



2 まとめです。次の()にあてはまる言葉や数をかきましょう。

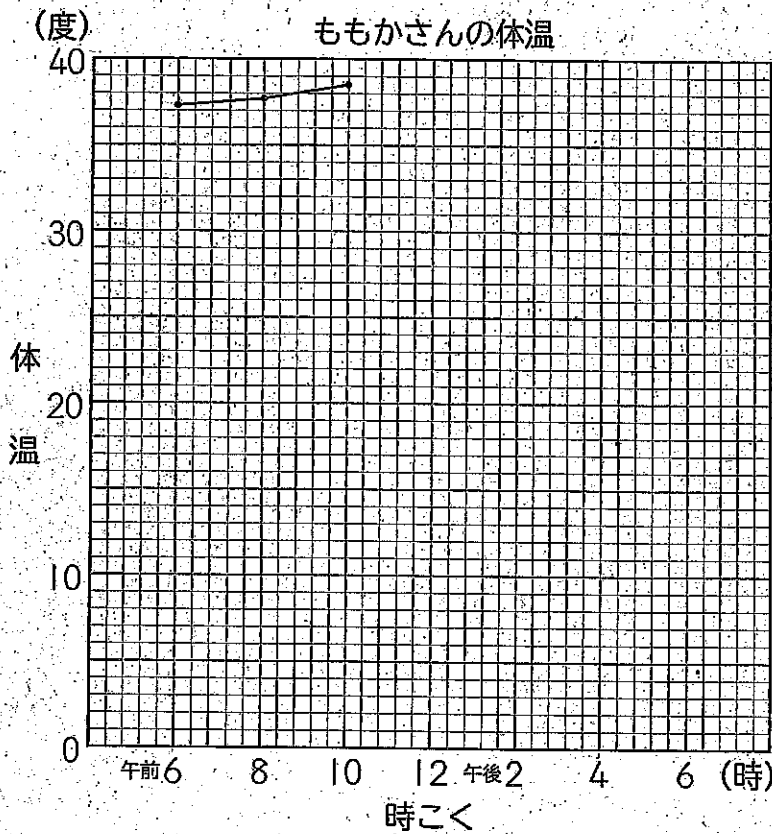
折れ線グラフのかき方 (教科書 30 ページの問題の場合)

- ① () をかく。
- ② よこのじくに時刻をとる。() をつけて、() をかく。
- ③ たてのじくに気温をとる。() をつけて、() をかく。
- ④ それぞれの時刻の気温を表す () をうつ。
- ⑤ 点を順に () でつなぐ。

めあて 変わり方がよくわかる折れ線グラフをかこう。

1 教科書 32 ページの 2 の問題を声に出して読みましょう。

(1) 下の目もりを使って、折れ線グラフにかいてみましょう。



線のかたむきが
小さいから、
変わり方が
わかりにくいね。

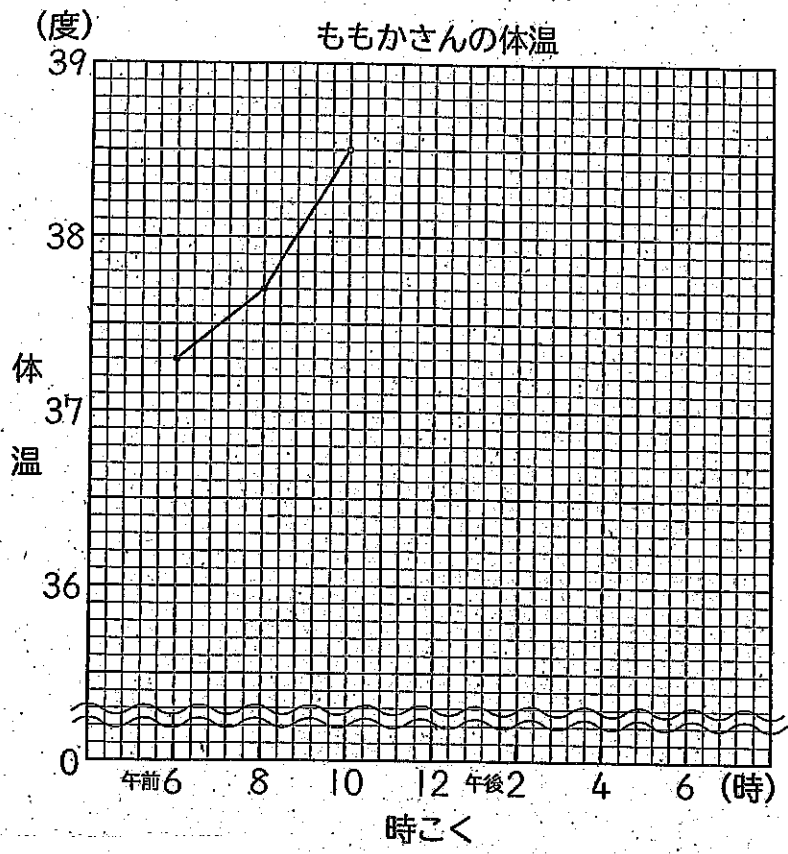


上の折れ線グラフでは、変わり方がよくわかりません・・・

(2) 変わり方がよくわかるグラフにするには、どのようにするといいでしょうか。考えたことをかきましょう。

(3) うらのグラフの~~~~は、目もりの一部をはぶいてある^{しるし}印です。グラフの続きをかいてみましょう。

→ うらに続く



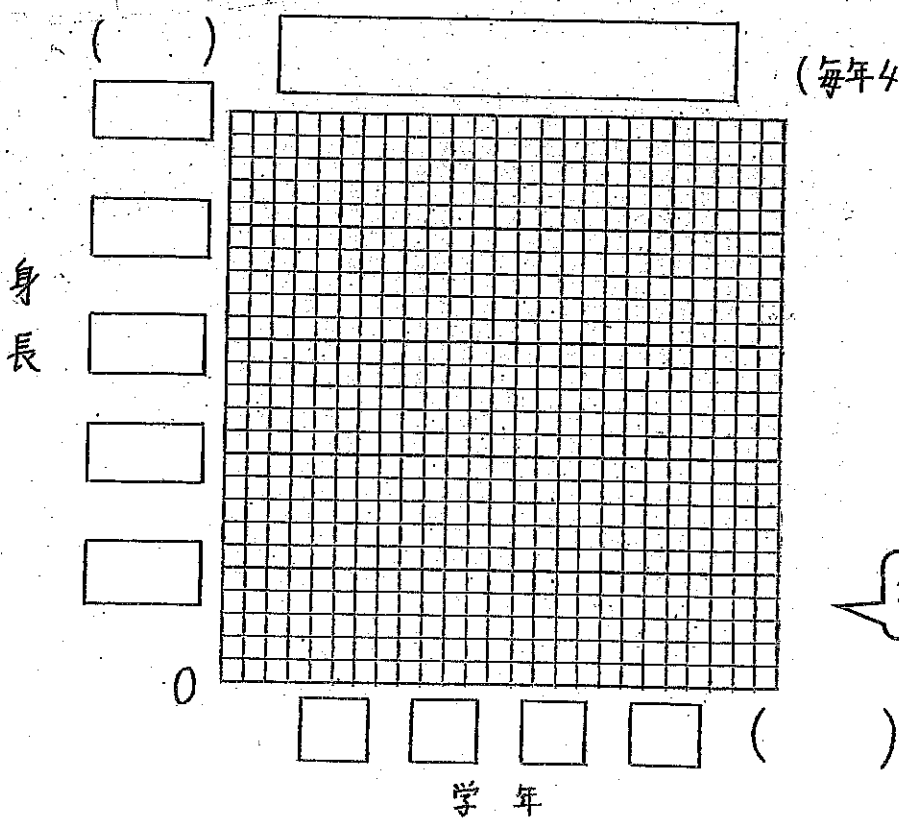
(4) (1)のグラフと(3)のグラフをくらべて、変わり方がよくわかるグラフはどちらでしょうか。

□ のグラフ

2 まとめです。次の () にあてはまる言葉をかきましょう。

必要のない目もりの部分は、() という印を使って、目もりのはばを大きくすると、線のかたむきが() になるので、変わり方がよくわかる。

3 教科書 33 ページの 3 の問題に取り組みましょう。下の目もりにかきましょう。



〰️ を使ってかこう!

教科書とこのプリントを読みながら、ワークに取り組みましょう。

○ 季節と生物 [1] 春のはじまり

◇ 春になり、身近なところにいるいろいろな生物が見られるようになった。

- (1) 外へ出て、生物をさがして見てみよう。
 ※ 教科書の写真を見たり、今までのけいけんを思い出して書いてもよいです。

(2) 今見られる生物は、この後どうなっていくのか話し合おう。
 → 考えて書きましょう

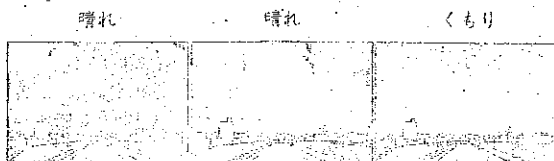
(3) 天気によって、1日の気温の変化に、どのようなちがいがあ
 るのだろうか。

ア 昼に外へ出たとき、朝とくらべて暑く感じる日とそうでな
 い日があったことから予想しよう。

イ どのように調べればよいか計画を立てよう。
 ※ 教科書11ページを読んで考えてもよいです。

ウ 天気の見分け方について調べよう。

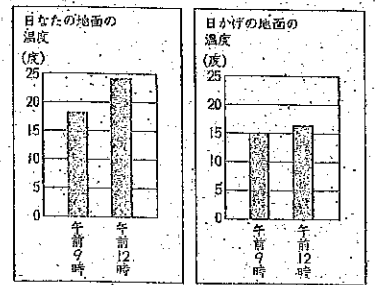
・「晴れ」と「くもり」のちがいは、空全体の()
 で決まる。



1 天気と気温

- ◇ 晴れの日の昼とくもりの日の昼に外へ出てみましょう。
 (1) それぞれの日の空気の温度(気温)について気づいたことを話し合おう。
 → 書きましょう

- (2) 3年生で学んだことをふりかえろう。
 日なたの地面の温度は、日かげの地面の温度よりも
 ()なる。
 地面は、()であためられる。



エ 教科書210ページを見て、温度計の使い方を調べよう。

(目もりの読み方)

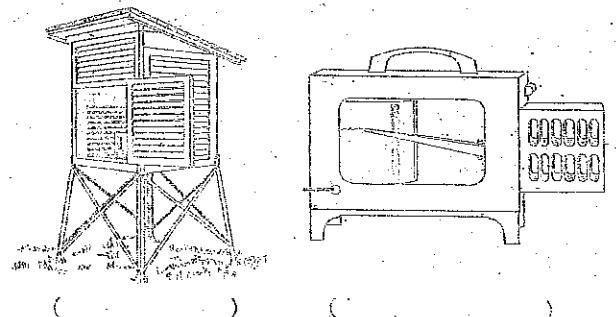
- ① はかりたいものに、温度計の()を入れる。
- ② えきが動かなくなったら、目もりを()から読む。
 ・ えきの先が目もりの線と線の間にあるときには、()ほうの目もりを読む。

(気温をはかるとき)

- ・ 周りがよく開けた()ではかる。
- ・ 地面から()m~()mの高さではかる。
- ・ ()が温度計に直せつ当たらないようにする。
- ・ 気温の単位は()と書き、()と読む。

★ 注意
 ・ われやすいので、ていねいに使う。つくえなどに置いておくとき、落ちてお
 ちることがある。使わないときは、ケースにしまう。
 ・ もしもわれてしまったら、ガラスやえきにはさわらず、すぐに先生に知らせる。

オ 温度計がいの気温をはかる器具の名前を書こう。



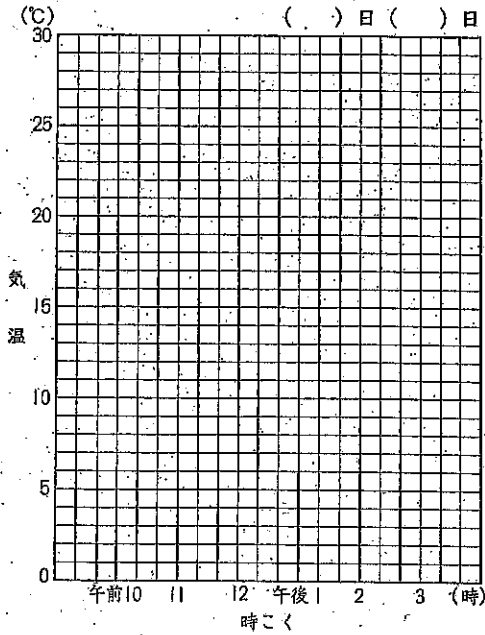
※ 教科書12ページの「結果」の表を使ってもいいです。

力: 晴れの日と雨の日の気温の変化を午前10時ごろから1時間おきに、同じ場所で調べ、表に記録しよう。また、結果をグラフで表そう。

() 月 () 日

時こく	午前10時	午前11時	午前12時	午後1時	午後2時	午後3時
天気	晴れ					
気温(℃)						

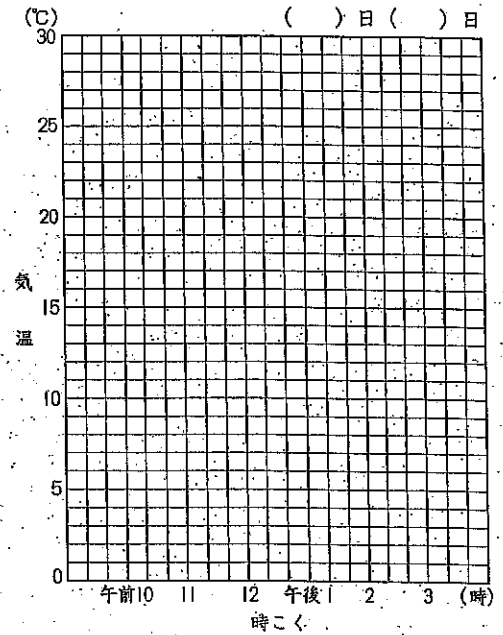
1日の気温の変化



() 月 () 日

時こく	午前10時	午前11時	午前12時	午後1時	午後2時	午後3時
天気	雨					
気温(℃)						

1日の気温の変化



(4) 結果からいえることを考え、話し合おう。
→ 書きましよう

(5) わかったことをまとめよう。

- 1日の気温は、日中が(), 朝や夜に()ことが多い。
- 晴れの日と雨の日の気温の変化は(), 太陽が雲でさえぎられるくもりの日や雨の日の気温の変化は()。
- 晴れの日と雨の日の1日の気温は、()が最低になり、()ころ最高になることが多い。

ここまでの学習をふりかえってみましよう。

(あてはまるところを○でかこみましよう)

① 晴れの日と雨の日の気温を正しくはかり記録することができた。

よくできた できた あまりできなかった できなかった

② 天気と気温の関係がよくわかった。

よくわかった わかった あまりわからなかった わからなかった

③ 天気と気温の関係について、自分の考えを書くことができた。

よくできた できた あまりできなかった できなかった

④ 天気と気温の関係について、進んで調べようとする事ができた。

よくできた できた あまりできなかった できなかった

ひとこと

↑ わかったことや できるようになったこと、さらに調べてみたいことなど、ひとこと書きましよう。

5. 気象

① 温度計で気温をはかるとき、右の図のように温度計におおいをする理由を説明しよう。

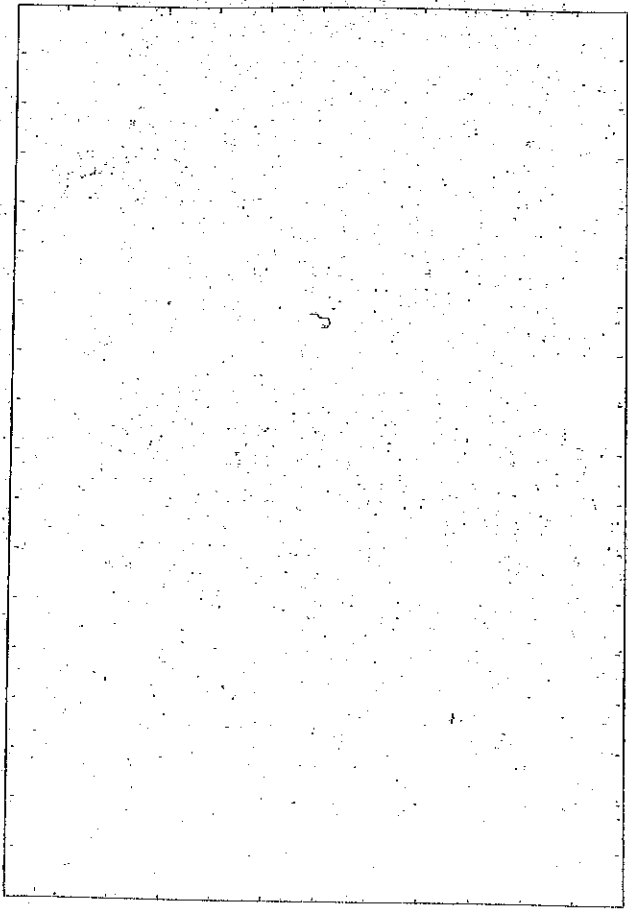


() にあてはまる言葉を入れて、ワークに書きましよう。

「温度計に()が直せつ当たってしまうと、温度計が()で()てしまい、気温を正しくはかることができないから。」

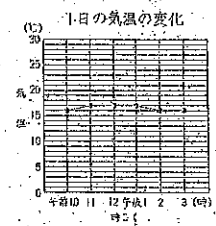
② 気温はどのようにしてはかった空気の温度だろうか。下の□の中の言葉を使って説明しよう。

日光 風通し 地面からの高さ

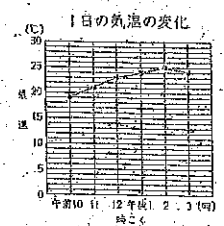


この言葉を使って説明しよう。

③ 下のグラフは、晴れの日と雨の日の1日の気温の変化を表したものである。晴れの日と雨の日は、それぞれどちらだろうか。そう考えた理由も説明しよう。



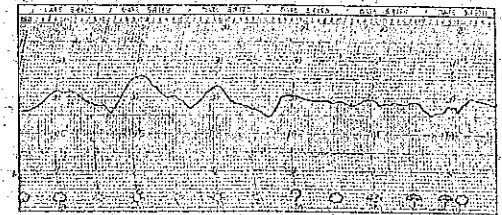
() の日
(理由)



() の日
(理由)

6. 季節と生物

下の図は、5月15日から数日間の気温のようすである。気温の変化をもとに、5月18日の天気の様子を説明しよう。



() にあてはまる言葉を入れて、ワークに書きましよう。
「午前()時ごろから 午前()時ごろまで、気温は()いる。その後、気温は()。このことから、天気は()から()に変わったと考えられる。」

2 季節と生物 [2] 春

◆ 前回の観察からしばらくたったが、生物の様子にはどのようなちがいが見られるようになっただろうか。

生物の様子を観察して、気づいたことを話し合おう。
教科書と見たり、今までのけいれんを思い出したりして書きましよう。
P16.17

① 1年間の観察

生物のようすは、季節によってどのように変わっていくのだろうか。

- 春の始まりと今ごろの生物のようすから、予想しよう。
- 生物のようすと温度の関係について、観察する生物を決めて1年間調べていこう。
- ア 観察計画を立てよう。

生物名	観察計画

イ 生物の活動や成長のようすを観察する方法をまとめよう。

教科書
20ページを見て

- 虫めがねは()生物を観察するときに使い、鳥などの()生物はそうがん鏡を使って観察するとよい。目をいためるので()を見てはいけない。
- 水温は日光が温度計に直せつ()ように、自分のかげに入れてはかる。温度をはかるときは、温度計の()のほうを持ってはかる。

ウ 教科書20ページを見て、観察カードのかき方をまとめよう。

観察した
()

観察した
()

ツルレイシ 5月22日午前10時
教室 暗れ 気温23℃

観察した
()

観察した
()

観察した
ようすの
()

観察した
()

()

- ・子葉が2まい出ていた。
- ・子葉の色は緑色で、あつみがあった。
- ・子葉の間には、小さな茎があった。
- ・高さは10cmぐらいだった。

② 生物の暮らしのようす

調べていくことに決めた生物について、暮らしのようすを観察しよう。

① 気温と動物の暮らしのようすの関係

動物の色や形、大きさを何をしているかなどを調べて、教科書P22の「ツルレイシ」の観察カードのようすを参考に、観察カードをかきなさい。

選んだ生物名 () 月 日 時 () 時 ()

書いた日 () 場所 () 天気 () 気温 () ℃

ここに、P22の中から
選んだ動物をかきなさい。

()
 ()
 ()

色や形、何をしているところかなど、気付いたことを書きなさい。

ふりかえりに取り組まよう。

ここまでの学習をふりかえってみよう。
(あてはまるところを○でかきこみましょう)

- これからも、動物の活動のようすを観察していこうと思う。
とても思う 思う あまり思わない 思わない
 - 動物のようすがどのようにかわっていくか予想することができた。
よくできた できた あまりできなかった できなかった
 - 調べることに決めた動物の活動のようすを記録することができた。
よくできた できた あまりできなかった できなかった
- ひとこと